



2学期終業式に寄せて

最低気温が氷点下を下回るようになりました。いよいよ明日から冬季休業になります。1月11日までの19日間の休みです。今年度は臨時休校があったため、夏休みが20日間でした。特別短い夏休みだったのですが、「夏休み並みの長い休み」とも言えそうです。しかし、夏休みと大きく違っているのは、年末年始という大きな節目であることと、かなりの割合で、家族で過ごす時間が長くなることです。新型コロナウイルス感染症の予防のため、外出などを控える家庭も多いと思います。こんな時ですから、年末年始の伝統的な行事など、何らかの形で体験ができたり、またはお話として伝えていただく機会になればよいのではないかと思います。温故知新。古き伝統から学ぶこともあると思います。

さて、2学期の終業式には、次の二つについて話をしました。(気温が低いと思われるので、短めに。この原稿は前日作成しているので、多少の変更はあったかもしれません)

一つ目は、2学期には運動会や、校外学習、音楽発表会、林間学校や修学旅行、ほかにも普段の学習とは違った学習がいくつもあったこと。それらの学習は、3つの大切な勉強のうち、『賢くなる』ことと、『優しくなる』ことの学習であったこと。そして、8月の自分に比べて、今の自分が『賢く』『優しい』北っ子になっているか考えてほしい。例えば、6年生の修学旅行でのこの2点は、91点と評価しました。集団行動やマナーを守った行動など、より良い行動ができたか。集団行動の中で、自分本位ではなく、友達のことを気遣うような行動がとれたか。全体として合格点になったこと。担任の先生からお話があると思うので、このことについては、教室でしっかり話を聞いてほしいこと。

二つ目は、冬休みの過ごし方について。3つの車にお世話にならないようにすること。一つは赤い車。暖房など扱う機会が多いので、火事を起こさないようにすること。次は、白と黒の車にお世話にならないこと。悪い人につかまったり、自分が悪いことをしたりしてはいけないということ。最後は、白い車にお世話にならないこと。病気になって病院に行くことがないように、そして重い病気やけがで、白い車のお世話にならないように、特に新型コロナウイルスにかからないように気を付けること。

最後に、1月12日に元気に学校に来てほしいということ。

巷では、新型コロナウイルスの感染状況に戦々恐々としてはいますが、皆様のご協力のおかげで、2学期も無事終わりました。令和2年度の集大成となる3学期も、引き続き北小教育にご理解ご協力をお願いします。

* * * * *

22日、最低気温が氷点下5度を記録しました。寒さに背中を丸めがちに登校する子も見かけられますが、マスク越しの元気な「おはようございます」は、寒さに凍えそうな交通当番の保護者の方の心も「ポッ」と温かくしてくれる魔法の言葉です。

「いってらっしゃ〜い」と温かく声をかけてもらえるその返事というかお礼の気持ちも込めて、気持ちの良い「おはようございます」を返してくれる北っ子の姿をみるとうれしくなってきました。

冬休み。年末・年始でのご挨拶を通して、挨拶についてちょこっと考える機会にしていたきたいと思います。

皆様、よいお年をお迎えください。今年1年、ありがとうございました。

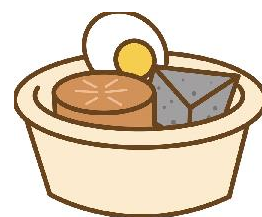
おでんパーティー

12月18日、どんぐり学級のおでんパーティーに招待されました。

北小の畑で収穫した大根をはじめ、こんにゃくなど定番のおでんだねの入った、熱々のおでんをいただきました。

席に案内されると、お品書きも用意されていて、「苦手なものありますか?」と、たいそう丁寧な対応をいただきました。「ホスピタリティー」という言葉がありますが、こうした場面を通して、少しずつ身につけていくものなのだと感じつつ、ちょっとだけ練りがらしを効かせていただきました。

この日、給食のメニューもおでん(^_^)A。味付けが全く違っていたので、どちらもおいしくいただきました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs（エスディーゼズ）」という言葉が、最近耳にしたり目にしたりしませんか。TBS系列のテレビ局は、11月の最終週を『SDGsウィーク』としていたので、いくつかの番組の中で、このことについて取り上げていました。

さて、SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2030年までに達成したい17の目標が示されています。今年度から使用している6年生の理科の教科書には、SDGsという記述もあり、このことに触れたページがあります。同じく6年生の社会科の教科書にも、SDGsの文字はありませんが、17の目標についての記述があります。

11月に6年生の理科の授業を3時間ほどやりましたが、2回目の授業の日、11月19日が「世界トイレの日」だったので、目標の6『安全な水とトイレを世界中に』に関係すると思い、ちょっとだけSDGsを話題にしました。

問『児童会で取り組んでいるアルミ缶の収集は17の目標のどの目標に関係しているか』

皆さんはどう考えますか？ 6年生はなかなかよい視点で考えていました。因みに、アルミ缶をリサイクルすると、ボーキサイト（原料）からアルミニウムの新地金を作るときの電力の、わずか3%で再生地金になるそうです。（アルミ缶リサイクル協会HPより）

SDGsの17の目標達成につながることを、日常生活で実行していることから見つけてみることを、冬休みの家族の話題としてみてはいかがでしょうか。

* * * * *

実は、PTA会長の小宮山さんは、年度初めにお会いした時に、「PTAの活動でSDGsに関わることができたら…」とおっしゃっていました。新型コロナウイルスの感染が収束しないために、通常のPTA活動もままならず、このことは実現が難しくなっていますが、この機会に、皆さんに関心を持ってもらいたいと考え、話題として提供してみました。



昨年のバレンタインデーの時期に気が付いたのですが、森永チョコレートには、『1チョコfor1スマイル』というキャンペーン商品がいくつかありました。これは、「フェアトレード」活動の一環として2008年から行われていたそうです。SDGsでいうところの、1、4、10に関係していそうな取り組みです。チョコレート1つにつき、1円の寄付がガーナやカメルーンの子どもたちのために寄付されるそうです。これらの商品は、年明けくらいからスーパーなどに出てくるかもしれません。どんな商品を買うかということも、SDGsの視点では大切になります。